

令和4年度 第2回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

- 1 開催日時** 令和4年8月3日(水)
午後2時～午後4時

開催場所 小牧市役所 東庁舎5階 大会議室

2 出席者

- (1) 推進市民会議委員 18名(欠席:舟橋委員、平手委員)
- (2) 事務局 支え合い協働推進課 倉知課長、岡田係長、落合、川口
- (3) 地域協議会代表者 4名(陶小学校区地域協議会2名、篠岡学区地域協議会2名)
- (4) 傍聴者 7名

3 会議資料

会議次第

- 資料 1 陶小学校区地域協議会の活動について
- 資料 2 篠岡学区地域協議会の活動について
- 資料 3 ヒアリングシート

4 会議内容

- 1 あいさつ
- 2 地域協議会代表者による活動発表
- 3 意見交換
- 4 その他(次回以降の会議予定、市からのお知らせ)

【事務局】

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。
ただいまより第2回小牧市地域協議会推進市民会議を開催いたします。
本会議では新型コロナウイルス感染防止のため、会議中は原則マスクの着用をお願いしております。万一、息苦しさなどを感じられた際には、一時的にマスクを外していただいても構いませんが、発言の際にはマスクの着用にご協力をお願いいたします。市民憲章の唱和であります。感染拡大予防の観点から省略とさせていただきます。また、本日はグループに分かれての話し合いを行います。このあと2つの地域協議会から活動の事例などを紹介していただきます。テーブル毎に「夏祭り」「オレンジカフェ」「おたすけ隊」「フラワーパーク」といったトピックスを出させていただきます。話し合いの前にご自身が関心を持たれるところについて席替えの時間を設けますので、よろしく願いいたします。それでは以後の進行は加藤会長にお願いいたします。次第1の会長よりご挨拶からお願いいたします。

【加藤会長】

改めまして、こんにちは。今回もこうして皆さんに集まっていたいただいて会議が開催できることをとても嬉しく思っています。今日は地域協議会の代表者の方がお見えになっていますので、この時間が少しでも有意義になるように、自分の地域に置き換えられる事例や、参考になる事例、逆に協議会へのアドバイスなど相互に効果がある場になればいいと思っています。よろしくお付き合いください。

このまま進行に入りたいと思います。会議を始めます前に、この会議は、「小牧市地域協議会推進市民会議設置要綱」第5条3項に基づき、会議は公開することとされています。本日は、発表していただく方4名、それ以外に地域協議会の関係者様が7名ご参加していますので、ご報告いたします。では早速、次第の2「地域協議会代表者による活動発表」です。まず陶の方から準備していただいでよろしいでしょうか。その間に事務局から発表についての説明をしていただきます。お願いいたします。

【事務局】

こんにちは、今回は陶小学校区、篠岡学区の地域協議会の方の発表を皆さんに見てもらいます。配布した資料の最初になりますが、ヒアリングシートをご用意しております。書きながら見ていただいて、「こんなことを話し合おう」と気になったことを、メモをとっていただきたいと思います。この会議が終わりましたら、ヒアリングシート、陶と篠岡の2枚のコピーをいただきますのでご協力よろしくお願いいたします。

【加藤会長】

ありがとうございます。ヒアリングシートが2枚、陶、篠岡と書いてあるので間違いのないようにしてください。また、お帰りになる時に事務局に出してください。発表を聞いたり、その後の意見交換の時に「大事だな」と思ったことをメモしていただけるとありがたいです。では、準備が整ったようです。一際大きな拍手でお迎えくださいませ。

[陶小学校区地域協議会 落合会長より資料1に基づき説明]

【加藤会長】

落合会長ありがとうございました。冒頭のロゴマークの由来がとても素敵で、また「陶の道しるべ」の冊子も地域協議会はこうあるべきといった内容が書かれているということがとても特徴的だと思いました。取り組みとして、夏祭りの話とオレンジカフェの話をしていただきました。この後、陶の代表者2名にそれぞれテーブルに入って深掘りしていただければと思います。ヒアリングシートに印象に残ったこと、聞いてみたいことをメモしておいてください。

では、篠岡学区地域協議会の発表です。大きな拍手でお迎えください。

[篠岡学区地域協議会深堀会長より資料2に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございました。あえて小学校区ではなく学区だとおっしゃって

いたのが印象に残りました。特徴的な取り組みとしては、「おたすけ隊」「青色回転灯パトロールの活動」「フラワーパーク」ということで、篠岡の代表者2名もそれぞれテーブル毎に分かれて話をさせていただければと思います。

この後、「ワールドカフェ方式」で話し合いをしたいと思います。自分の関心があるグループ（A：陶 夏祭り、B：陶 オレンジカフェ、C：篠岡青パト・おたすけ隊、D：篠岡 フラワーパーク）4テーブルある中で2テーブルを回っていただきますので、自分の意中のグループを2つ、全体の人数のバランスも見ながら回っていただきたいと思います。それぞれ15分程度話し合いをしますが、A、B、C、Dそれぞれに先ほど発表していただいた方がいらっしゃいます。質問や意見交換など、話し合いしていただければと思います。それでは、荷物を持って意中のグループに移動をお願いします。

まずは、先ほどの発表の感想など一言を添えた自己紹介の時間を3分間とります。その後、意見交換をしてください。

[各テーブルで自己紹介、発表の感想、意見交換 20分]

【加藤会長】

時間になりました。まだまだ話し足りないかもしれませんが、7分間の休憩をして席移動をお願いします。

[休憩、席移動]

【加藤会長】

では、再開します。よろしくをお願いします。
自己紹介と意見交換をよろしくをお願いします。

[各テーブルで自己紹介、発表の感想、意見交換 20分]

【加藤会長】

時間になりました。お疲れ様です。

ワールドカフェということで4つのテーマのうち2つ回られたと思います。自分が参加していない時の話や、ほかのグループがどのような話をしたのか気になると思います。まずは、陶・篠岡の代表者の方に「こんな話をした」だったり、「こんなことが印象に残った」ということを順番に2分ぐらいで紹介いただいて、皆さんで分かち合いたいと思います。Aグループ夏祭りについて陶の落合会長お願いします。

【陶小学校区地域協議会 会長 落合氏】

1回目はどちらかというと地域協議会の設立の話をしました。夏祭りについても少し話しました。2回目では、夏祭りの規模やこれからどのように活動していけばいいかという話が出て、今後の参考になろうかと思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。では、Bグループ、オレンジカフェの話で陶の長谷川さん、感想や印象に残ったことの発表をお願いします。

【陶小学校区地域協議会 事務局長 長谷川氏】

オレンジカフェについては、説明にあった民具の話が前半も後半もありました。特に民具はどこに保管しているかということがありました。上末は昔から公民館があるので、そこでストックし、イベントの種類によって民具の大きいもの、小さいものを用意していました。大きいものは区民展等のとき、小さいものはオレンジカフェに各テーブルに置いていました。

【加藤会長】

ありがとうございます。では、Cグループ、おたすけ隊・青パトについて篠岡の渡辺さんお願いします。

【篠岡学区地域協議会 事務局 渡辺氏】

1回目のグループでは、こどもたちも一緒におたすけ隊活動や地域の行事に参加してもらえればという話がありました。2回目はおたすけ隊の詳細を皆さんとお話ししました。

【加藤会長】

ありがとうございます。では、Dグループ、フラワーパークについて深堀さんお願いします。

【篠岡学区地域協議会 会長 深堀氏】

フラワーパークについては、最初に「なぜフラワーパークを始めたのか」という動機を聞かれました。フラワーパーク実施のきっかけは、地域住民から「休耕地があり、何か活用できないか」という話があり、打ち合わせをして決めたのがフラワーパークです。フラワーパークの話聞いた周辺住民から「ほかにも休耕地がある。使ってくれ」と言われていますが、人手が足りません。問題となるのは朝と夕方に当番で水まきをしないといけないこと、もう一つは雑草が伸びてしまうことです。除草剤も使っていますが、花を育てる場所には使えません。雑草とりに人手がいることになってしまいます。「フラワーパーク」は、夏はひまわり、秋はコスモス、春は菜の花と3種類の花を植えていくつもりです。他の休耕地は人を集めてから活動内容を考えていきたいです。例えば、農業体験もゆくゆくはやっていきたいと思っています。しかし、光ヶ丘中学校で農業体験をやっていたところ、受験勉強が忙しいということで撤退した事例もあると聞きました。途中で事業を中断することは避けたいので、今後も内容検討を含め頑張って考えたいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございました。では、今日話した内容、もしくは今の振り返りを聞いて、印象に残ったことや感想を共有してお別れにしたいと思います。まずは公募委員の藤本さん、お願いします。

【藤本委員】

私はCのおたすけ隊・青パトとDのフラワーパークのところに参加しました。Cのおたすけ隊・青パトでは、とても有意義な活動であると思いました。無償でやっている部分もあるとのことで、多くの人にお問い合わせの点が大変なのかなと思いました。Dのフラワーパークでは、中学生をターゲットにしていると聞きました。自分も中高とボランティア活動をやってき

たので、とても親近感がわきました。たくさん話をしていただき勉強になりました。

【加藤会長】

ありがとうございました。2人目は藤本さんの指名をお願いします。

【船橋委員】

三ツ泷学区コミュニティ推進協議会の船橋です。私はAの夏祭りとお話をお聞きしました。三ツ泷学区では夏祭りは区単位で行うので、協議会ではやっていません。また、オレンジカフェも三ツ泷の地域協議会ではしておらず、区の方で民生委員を中心に色々な事業をしていますので、今後、協議会でどのような事業を実施していくか、他の事例を参考にしたいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございました。船橋委員からご指名をお願いします。

【安藤委員】

青少年健全育成の安藤です。2点お話しします。1点目に、陶さんも篠岡さんもロゴマークが素敵だなと思いました。活動を象徴しているようなロゴマークだと感じました。2点目に、これから活性化していくためには、若い力が絶対に必要だなと思います。次世代を育成すると言いますが、もっと若年層を育成した方が、将来地域に帰ってくる人もいますので、そういう人たちの力を借りるのが1番だと感じました。ただし、それはかなりの時間を要すると思います。大変ですがよろしくお願いします。

【加藤会長】

ありがとうございます。安藤委員、ご指名をお願いします。

【兼子委員】

村中小学校の兼子です。こどもたちが地域の方との関わりのなかで、こどもたちを参加させていく場とか活躍させていただく場を作っていただくと

ということがひとつ大きな意味があるかなと思います。例えば、ボランティアだとか夏祭りといったことがあると思います。もう1つは、地域の力を学校の資源にさせていただくということもひとつ重要なポイントであると思います。例えば、パトロールボランティアさんだとか、先ほどのフラワーパークでひまわりを育てたり、防災意識を高めたりという話もあったと思います。そういった子どもたちが、将来大人になった時に「僕たちも地域のために何か役に立ちたい」といった気持ちを強めていくんじゃないかなと期待をしますので、これからも学校の子どもたちと地域の方たちの繋がりを強くしていただけるとありがたいな、力強いなと思っておりますので、よろしくお願ひします。

【加藤会長】

ありがとうございました。今日は学識経験者の伊藤先生がお見えになっておりますので、全体を通じて講評をいただいております。お別れにしたいと思ひます。では、伊藤先生お願ひします。

【伊藤委員】

今日、陶と篠岡の具体的な事業内容をお聞きして、もうここまできたんだなと思ひ感動しました。これほど充実した活動ができるということが、皆さん地域協議会に対しご尽力されているのだと思ひました。また、協議会活動を全学区に広げていくことがこの会議の1つのミッションでもあるので、もっと情報共有をしていただきたいと思ひて聞いておりました。

地域づくりの課題については協議会に関わらずあちこちで議論されておますが、マイナス面として出てきている課題に対し、それぞれ地域が持っているリソースを活用すること。例えば、民具の話では民具は普通の家にあつたら邪魔なものになると思ひますが、持ってきて話のきっかけにするという逆転の発想や、活用されていない田畑である休耕地を使つてのフラワーパーク事業を始める話、特にヒューマンリソースが足りない部分に中学生が入つてもらつたのはすごくいい事例だと思ひました。地域づくりの議論の中で「よそ者、若者、ばか者」とはよく言いますが、活動している人たちだけをみて話をしていると、必ず限界がきてしまうということおです。

地域協議会の活動と区で動いていることの相互作用も考えなくてはならないと舩橋委員がおっしゃったことも印象的でした。地域のこども会だとやれなくなってきた事業が地域協議会だったからできたということは今後の地域協議会の活動を考えるうえで、1つのヒントになると思います。

もう1つ印象的だったのは、兼子委員のお話に関連して、こどもたちが地域住民であるというアイデンティティが持ちづらくなっている現状があるように感じています。こどもたちが自分事として地域にどう貢献するかということを考える仕掛けづくりを、細いところでもいいのでどこか検討していただけると、「学校の活動で参加した」ではなくて、「自分はここが好きだからやった」というような、アイデンティティ形成に繋がっていくといいのかなと思って聞いていました。話は少し変わりますが、もう1つ、陶の須恵器は感動しました。そういった歴史を知らない方たちも数多くいると思います。須恵器の復活に向けてやっていこうという時に、こどもたちが活躍できる場所もあると思います。こどもたちはものすごく調べる力を持っているので、そこを引き出す機会を作っていただければいいかなと思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。あっという間に2時間経ち、お別れの時間になりました。ヒアリングシートを事務局が回収されると思うのでご用意ください。今日は陶の代表者、篠岡の代表者に大きな拍手をお願いします。ご自分のいるテーブルメンバーにお互い拍手を送り合いましょう。この場を設定してくださった小牧市にお礼の拍手をお願いします。課長にマイクをお返しして締めていただこうと思います。ありがとうございました。

【事務局】

皆さま、長い間誠にありがとうございました。発表いただきました陶、篠岡の地域協議会の皆さまにおかれましては、ありがとうございました。今日ご議論いただいたことにつきまして、ヒアリングシートを回収させていただき、参考にさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。また、その他といたしまして、次回の推進市民会議の日程につきましては、11月頃に日程を調整したうへでご連絡させていただこう

と思っておりますので、よろしくお願いたします。また、こういった地域協議会の活動を色々なところでアピールしていきたいと思っております。まだチラシ等がないのですが、9月17日の土曜日に「こまき市民活動祭 KOMAKI 駅前フェス・マチカラ」というイベントがラピオの2階から5階を使っておこなわれます。様々なボランティア活動や市民活動団体の発表・展示・ワークショップなどのイベントでございますが、こちらの5階で地域協議会のブースを設けます。お時間おありでしたらぜひ足を運んでいただけたらと思っておりますので、この場を借りてご紹介させていただきました。それでは、皆さま、長時間にわたりまして誠にありがとうございました。